県 営 宇 尾 地 区 土 地 改 良 事 業

（ 経営体育成基盤整備事業 ）

事 業 計 画 書

滋 賀 県

目　　次

第１章　目的　1

第２章　地域及び地積　1
　第１節　地域　1
　第２節　地積　1

第３章　現況　2
　第１節　気象及び海象　2
　第２節　土地状況　3
　第３節　水利状況　5
　第４節　道路概況　11
　第５節　地域農業の概況　12
　第６節　地域環境の概況　15

第４章　一般計画　16
　第１節　事業計画の要旨　16
　第２節　営農計画及び土地利用計画　16
　第３節　用水計画　20
　第４節　排水計画　23
　第５節　道路計画　24
　第６節　農用地造成計画　25
　第７節　洪水調節計画　25
　第８節　干拓計画　25
　第９節　農用地整備計画　25
　第10節　老朽ため池改修計画　26

第５章　主要工事計画　27
　第１節　用水施設　27
　第２節　排水施設　28
　第３節　道路及び索道　28
　第４節　農用地造成　29
　第５節　洪水調節施設　29
　第６節　干拓施設　29
　第７節　農用地整備施設　29
　第８節　老朽ため池改修施設　29

第６章　附帯工事計画　30

第７章　工事の着手及び完了の予定時期　30

第８章　環境との調和への配慮　30

第９章　換地計画の概要　30

第10章　事業費の総額及び内訳　31

第11章　効用　31

第12章　関連する事業　32

第13章　現況・計画図面　32

第１章　目的

本事業は農業競争力強化農地整備事業に基づき、生産効率を高め競争力ある「攻めの農業」に向け、担い手への農地集積の加速化や農業の高付加価値化等を推進することを目的として区画整理及び農業施設の整備を行い、併せて必要な土地改良事業を総合的かつ集中的に実施するものである。

第２章　地域及び地積

第１節　地域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
農業用用排水施設　農業用道路　暗渠排水　客土	滋賀県彦根市宇尾町

第２節　地積

（令和7年4月現在）　（第２表）

事　業　名	現況地目 / 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農業用用排水施設 農業用道路 暗渠排水 客土	彦根市	29.7	－	－	－	－	29.7	
合　　計		29.7	－	－	－	－	29.7	

第３章　現況

第１節　気象及び海象

１　一般気象

（第３表-1）

観測所名	彦根観測所	かんがい期	非かんがい期	計または平均	備　　考
観測期間	昭和49年～令和5年	4月　～　9月	10月　～　3月		
平　均　気　温　(℃)		23.1　℃	8.9　℃	14.8　℃	
降 水 量	平　均（mm）	849　mm	761　mm	1,610　mm	
	基準年（mm）	－　mm	－　mm	－　mm	昭和39年
降水日数	平　均（日）	53　日	80　日	133　日	
	基準年（日）	－　日	－　日	－　日	昭和39年
根　雪　期　間		－		－　日間	
無　霜　期　間		－		－　日間	
最　多　風　向		ＮＷ	最大風速 （風向）	24.9 m/s （ＥＳＥ）	最多風向発生時期　1月～11月 最大風速発生年月日　平成30年9月4日

２　特殊気象

（第３表-2）

観測所名	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備　考
彦根観測所																
観測期間	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	
昭和49年～令和5年																
最大日雨量(mm)	200.0	H29.10.22		177.5	H30. 7. 5		172.0	H 2. 9.19		126.0	H17. 7. 4		124.0	S57. 8. 1		
最大時間雨量(mm)	63.5	H13. 7.17		52.5	H29. 7.17		49.0	H26. 8.15		47.5	H19. 7.12 H30. 7. 5		47.0	S60. 7.10 H 9. 7. 9		
最大連続雨量(mm)	319.5	H29.10.15 ～10.25		307.5	H 2. 9.13 ～ 9.20		304.5	H 9. 7. 7 ～ 7.13		297.5	S51. 9. 7 ～ 9.14		286.5	H18. 7.15 ～ 7.21		
最大連続干天日数(日)	47	S61. 7.24 ～ 9. 8		39	H12. 8. 3 ～ 9.10		38	H10.10.28 ～12. 4		37	R 2.11. 8 ～12.14		34	H10.12. 6 ～H11.1.8		

３　海　　象　　該当なし

第２節　土地状況

１　地形、土壌及び侵食の程度

（第４表-1-1）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000未満	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°未満	3°～8°	8°～15° 8°～10°	8°～15° 10°～15°	8°～15° 8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
農業用排水施設 農業用排水路 暗渠排水 客土	面積(ha)	－	29.7	－	－	－	29.7	－	－	－	－	－	－	－	－	95.3	90.6	
	比率(%)	－	100	－	－	－	100	－	－	－	－	－	－	－	－			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)	－	29.7	－	－	－	29.7	－	－	－	－	－	－	－	－			
	比率(%)	－	100	－	－	－	100	－	－	－	－	－	－	－	－			

（第４表-1-2）

項目 / 土壌統（区）名	土壌統（区）分一覧表										面積(ha)			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			農業用排水施設 暗渠排水 客土		計	
グライ土壌　粘土型	－	－	－	－	CiL	CL	－	－	－	－	24.4		24.4	E42
強グライ土壌　壌土還元型	－	－	－	－	CL	SCL	－	－	－	－	5.3		5.3	D34
計											29.7		29.7	

2　土地分類　　該当なし

3　土地利用の状況

（令和7年4月現在）　（第４表-3）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用用排水施設　農業用道路暗渠排水　客土	彦根市	29.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	29.7	
合　計		29.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	29.7	

4　土地所有の状況

（令和7年4月現在）　（第４表-4）

事業名	所有別 / 区分	個人所有	県所有	市所有	土地改良区	その他	計	備考
農業用用排水施設　農業用道路暗渠排水　客土	面積 (ha)	29.7					29.7	
	受益者数 (人)	69					69	
	筆数 (筆)	155					155	
	権利関係	所有権						
	備考(関係戸数)	69					69	

第３節　水利状況

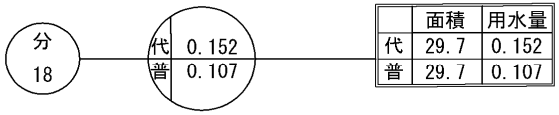
１　用水状況

彦根中部用水が管理しているポンプから圧送された用水を利用しており、末端の分水工である18号分水工から取水を行っている。
地区内の支線用水路は開水路で流下しており、水管理作業に労力を要している。各施設とも経年劣化により老朽化が著しい状況にある。

（１）用水系統

次頁、現況用水系統図　参照

現 況 用 水 系 統 模 式 図



	面積	用水量
代	29.7	0.152
普	29.7	0.107

（２）用水施設

（ア）取水方法一覧表

（第５表-1）

事業名	項目／施設名	かんがい面積 100ha以上		100ha～30ha		30ha未満		計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m^3/s	箇所	m^3/s	m^3/s	
農業用排水施設 暗渠排水 客土 農業用道路	貯水池							－	－						
	井堰							－	－						
	自然取入口							－	－						
	揚水機					1	29.7	1	29.7	1	0.152			0.152	
	その他							－	－						
	計	－	－	－	－	1	29.7	1	29.7	1	0.152	－	－	0.152	

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表-2）

事業名	項目／施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用排水施設 暗渠排水 客土 農業用道路	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	1	29.7	二次製品水路	BF350～550	S60,S63～H4	老朽化	
	その他							
	計	1	29.7					

（３）用水に関する被害状況　　該当なし

（４）ため池決壊の場合の想定被害状況　　該当なし

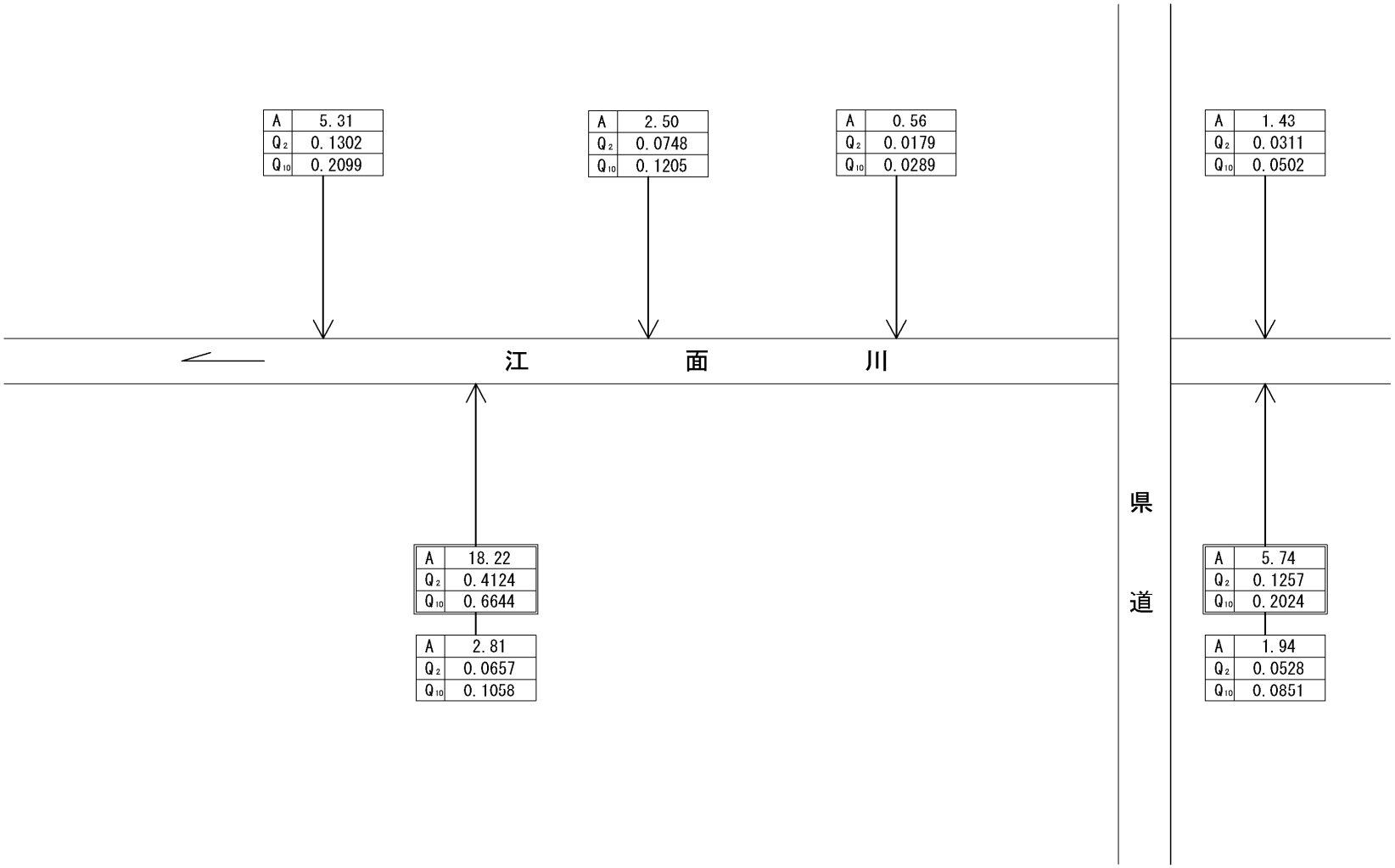
２　排水状況

本地区の排水は、地区内の水路を通じて、江面川に流下している。

（１）排水系統

次頁、現況排水系統図　参照

現況排水系統模式図


A 5.31
Q2 0.1302
Q10 0.2099
A 2.50
Q2 0.0748
Q10 0.1205
A 0.56
Q2 0.0179
Q10 0.0289
A 1.43
Q2 0.0311
Q10 0.0502
江
面
川
県
道
A 18.22
Q2 0.4124
Q10 0.6644
A 2.81
Q2 0.0657
Q10 0.1058
A 5.74
Q2 0.1257
Q10 0.2024
A 1.94
Q2 0.0528
Q10 0.0851

（２）排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第５表-4）

事業名	施設名 ＼ 項目		排水面積 100ha以上 箇所	100ha以上 ha	100ha～30ha 箇所	100ha～30ha ha	30ha未満 箇所	30ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 m^3/s	現況排水能力 m^3/s以上	備考
農業用排水施設 農業用道路 暗渠排水 客土	自然	排水路					1	29.7	1	29.7			
		水門								－			
	機械	排水機								－			
		水門及び排水機								－			
		排水路及び排水機								－			
	計		－	－	－	－	1	29.7	1	29.7	－	－	

（イ）改修を要する施設一覧表　　該当なし

（３）排水に関する被害状況　　該当なし

３　河川状況　　該当なし

第４節　道路概況

１　道路概況

地区の南北を県道神郷彦根線が走っている。地区内の一部農道は狭小であり、農耕車の通行に支障をきたしている。

２　主要道路一覧表

（第６表）

No	路　線　名	管理区分別	延　長（m）	幅　員（m）		構　造	改修の要否	備　考
				全　幅	有　効			
1	県道神郷彦根線	滋賀県				Ａｓ舗装	否	

第５節　地域農業の概況

１　産業別就業人口

（第７表-1）

項目 / 市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	水道業 熱供給 電気ガス（人）	通信業 運輸（人）	小売業 卸売業（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
彦根市	55,490	815	31	36	6	2,916	15,604	242	3,097	8,010	994	771	19,691	1,520	1,757	
計	55,490	815	31	36	6	2,916	15,604	242	3,097	8,010	994	771	19,691	1,520	1,757	
比　率　(%)	100	1	0	0	0	5	29	0	6	14	2	1	36	3	3	

資料：令和2年国勢調査

２　経営耕地広狭別農業経営体数及び耕地の分散状況

（第７表-2）

区分 / 市町村名	農業経営体数（経営体）	経営耕地広狭別農業経営体数（経営体）														1経営体当たり平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		備考
		0.3ha未満	0.3～0.5ha	0.5～1.0ha	1.0～1.5ha	1.5～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0～5.0ha	5.0～10.0ha	10.0～20.0ha	20.0～30.0ha	30.0～50.0ha	50.0～100.0ha	100.0～150.0ha	150.0ha以上	田	畑	樹園地	小計	草地	計	団地数	一戸当たり面積（ha）	
彦根市	536	23	111	169	61	32	26	28	37	17	18	10	3	0	1	3.9	0.1	0.0	4.0	－	4.0	－	－	
計	536	23	111	169	61	32	26	28	37	17	18	10	3	0	1	3.9	0.1	0.0	4.0	－	4.0	－	－	
比率(%)	100	4	21	32	11	6	5	5	7	3	3	2	1	0	0	97	3	0	100	－	100	－	－	

資料：2020年農林業センサス

３　主要家畜頭数

（第７表-3）

項目 / 市町村名	主要家畜 乳用牛 数量（頭）	乳用牛 経営体数（経営体）	豚 数量（頭）	豚 経営体数（経営体）	採卵鶏 数量（100羽）	採卵鶏 経営体数（経営体）					備考
彦根市	x	1	x	x	x	1					「x」は秘密保護上統計数値を公表しないもの
計	x	1	x	x	x	1					
100経営体当たり数量(頭・100羽)		－		－		－					
飼養経営体数割合（%）		0		－		0					

資料：2020年農林業センサス

4　主要作物作付状況

（第７表-4）

市町村名			彦根市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積（ha）			2,630						2,630			
総本地面積（ha）			2,563						2,563			
区分 / 作物名			作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	（%）	
田		水稲	1,550	524					1,550	524	60.5	
		小麦	529	374					529	374	20.6	
		大豆	514	50					514	50	20.1	
									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
	小計		2,593						2,593		101.2	
畑									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
	小計		－						－		－	
樹園地									－	－	－	
									－	－	－	
									－	－	－	
	小計		－						－		－	
計			2,593						2,593		101.2	
市町村別延べ作付率（%）			101.2						101.2			

資料：令和6年作物統計

5　農業の動向

（第７表-5）

項目 区分	農業経営体			土　地			主　要　作　物			大　家　畜			地　域 指定等	備　　考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況 （Ｃ年を100とする指数）	農業 経営体数	72	48	耕　地	104	96	水　稲	99	98	乳用牛	－	－	農業振興地域 〈彦根市〉 指定　S47.3 許可　S48.9	A:令和2年 （農林業センサス） B:平成27年 （農林業センサス） C:平成22年 （農林業センサス）
	個人 経営体数	72	47	田	105	96	小　麦	107	115	豚	－	－		
	団体経営体 (法人)数	120	167	畑	88	62	大　豆	104	87	採卵鶏	－	－		
	団体経営体 (非法人)数	71	29	樹園地	108	92								
変化の理由	後継者不足や、高齢化により農業経営体数が減少する一方、担い手の育成により団体経営体(法人)は増加。			農地転用等による耕地面積の減。			転作率の増加により、小麦の作付が拡大。							

資料：2020,2015,2010年 農林業センサス、作物統計

「-」…統計数値の非公表等で、変化の状況把握ができないもの

第６節　地域環境の概況

１　自然環境

＜気象＞

・太平洋型と日本海型が存在する複雑な気候で変化に富んでいる。

・平均気温は約14.5℃、年降水量は1,600㎜前後で梅雨期の6～7月に多く月間200㎜を超えている。

・一方、11～12月は降水量が少なく月間100㎜以下となっている。

＜地形・地質＞

・地形は、東南部の山麓より北西部の琵琶湖に向けて緩やかに傾斜している。

・地質は、砂壌土と植壌土で占められた肥沃な土層を示している。

＜水環境＞

・主要河川である犬上川、宇曽川が南東から北西に流れて琵琶湖に流入している。

・農業用水は琵琶湖を水源とした用水供給を行っている。

２　社会環境・地域指定

＜地域指定＞

・彦根市において、長浜市、米原市、多賀町の3市1町からなる「彦根長浜都市計画区域」が定められている。

・農業振興地域は彦根市が昭和47年3月に指定されている。

＜地域指標＞

・彦根市の令和2年の人口は113,647人、世帯数は48,212世帯となっている。（資料：令和2年国勢調査）

＜産業構造＞

・彦根市の産業別就業者割合は、第3次産業が64%、第2次産業が34%、第1次産業が2%となっており、第3次産業は増加傾向、第1次・第2次産業は減少傾向を示している。

・農業は、稲作を中心に小麦・大豆・野菜等の生産が行われている。

第４章　一般計画

第１節　事業計画の要旨

１　要　旨

本地区は、滋賀県東部の彦根市宇尾町に位置し、淀川水系犬上川の左岸域に展開する水田地帯である。本地区の取水源は彦根中部揚水機場から圧送された用水を利用しており、末端の18号分水工より取水している。

本地区のほ場及び用排水路等は構造改善事業 宇尾地区(S60)及び団体営ほ場整備事業 宇尾地区(S63～H4)により造成され、供用開始後概ね40年が経過し、経年劣化による機能低下（用水不良・漏水等）が著しく、安定的な用水供給等に支障が生じており、水管理労力が増大している。また地区内のほ場について、水はけが悪い(排水不良)等により、作業効率や生産性が悪い状態にある農地が見られる。

このため、本事業により用水路の改修、暗渠排水及び客土整備により、生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

２　事業別面積

（第８表）

事業名	農業用用排水施設						農業用道路 暗渠排水 客土												計	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	(ha)	
農業用用排水施設等	29.7					29.7						－						－	29.7	
暗渠排水	(5.1)					(5.1)						－						－	(5.1)	
客土	(1.0)					(1.0)												－	(1.0)	
計	29.7	－	－	－	－	29.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	29.7	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１　営農計画の概要

農地の集積化による大型機械の導入、用水路や道路の整備により耕地の汎用化を進める。そして近代化施設による機械化一貫体系を確立し、水稲を中心に中核農家の育成を図る。

２　土地利用区分

（第９表-1）

事業名	土地利用区分 / 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農業用用排水施設等	現況	29.7	－	－	－	－	－	29.7	－	－	－	29.7	
	計画	29.7	－	－	－	－	－	29.7	－	－	－	29.7	
暗渠排水	現況	(5.1)	－	－	－	－	－	(5.1)	－	－	－	(5.1)	
	計画	(5.1)	－	－	－	－	－	(5.1)	－	－	－	(5.1)	
客土	現況	(1.0)	－	－	－	－	－	(1.0)	－	－	－	(1.0)	
	計画	(1.0)	－	－	－	－	－	(1.0)	－	－	－	(1.0)	
計	現況	29.7	－	－	－	－	－	29.7	－	－	－	29.7	
	計画	29.7	－	－	－	－	－	29.7	－	－	－	29.7	

3　作付方式　　（第9表-2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
農業用用排水施設	現況	水稲	水田				○	○△	△	—	—	××							○	○△	△	—	—	××							○	○△	△	—	—	××				○—○　播種
																																								△—△　定植
																																								×—×　収穫
	計画	水稲	水田				○	○△	△	—	—	××							○	○△	△	—	—	××							○	○△	△	—	—	××				

4　生産計画

（第９表－３）

事業名	項目／地目名		作物名	作付面積(ha) 現況	作付面積(ha) 計画	作付面積(ha) 増減	作付率（%） 現況	作付率（%） 計画	単位面積当たり収量(kg/10a) 現況	単位面積当たり収量(kg/10a) 計画	単位面積当たり収量(kg/10a) 増減	生産量（t） 現況	生産量（t） 計画	生産量（t） 増減	同左生産量増減の内訳（t） 面積増減	同左生産量増減の内訳（t） 単位面積当たり収量増加	備考
農業用用排水施設 農業用道路 暗渠排水 客土	水田	表作	水稲	29.0	29.0		100.0	100.0	522	538	16	151.4	156.0	4.6		4.6	
			小　計	29.0	29.0		100.0	100.0									
		裏作															
			小　計														
	計			29.0	29.0		100.0	100.0									
	普通畑	春夏作															
			小　計														
		秋冬作															
			小　計														
	計																
	合　計			29.0	29.0		100.0	100.0									

※作付面積は本地面積

5　労働改善計画

（第９表－４）

事業名	項目 土地利用区分	作　物　名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a) 区　分	現　況	計　画	増　減	備　考
農業用用排水施設 農業用道路 暗渠排水 客土	水田	水稲 (担い手)	20.8	人　力	18.7	12.8	△ 5.9	
				機械力	5.2	5.2		
		水稲 (個別)	3.2	人　力	20.2	14.3	△ 5.9	
				機械力	6.1	6.1		
		水稲 (担い手) :暗渠排水	4.3	人　力	19.6	12.8	△ 6.8	
				機械力	5.8	5.2	△ 0.6	
		水稲 (個別) :暗渠排水	0.7	人　力	21.5	14.3	△ 7.2	
				機械力	7.0	6.1	△ 0.9	
	小　計		29.0					
	普通畑							
	小　計		－					
合　計			29.0					

6　級地別土地利用区分　　該当なし

7　土地配分計画　　該当なし

第３節　用水計画

１　計画基準年　　昭和39年（上位計画による）※県営彦根中部地区土地改良事業

２　計画かんがい方式

（１）水　田

項目 作付	代かき期間	かんがい期間	備　　考
早生	4月23日　～　4月29日	4月23日　～　9月6日	

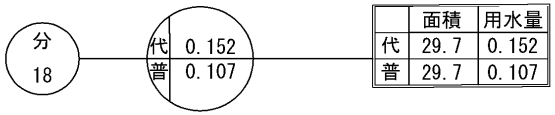
（２）畑（輪換畑）

うね間かんがい

３　計画用水系統

次頁、計画用水系統模式図　参照

計画用水系統模式図



	面積	用水量
代	29.7	0.152
普	29.7	0.107

4　計画用水量

（1）かんがい用水

（第10表-1-1）

項目 / 系統名	種別	面積（ha） 事業名 農業用用排水施設		計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量（mm/日）	代かき期 計画代かき単位用水量（mm）	面積（ha）	水田畑利用 1日当たり計画平均かん水深（mm/日）	平均間断日数（日）	面積（ha）	畑地かんがい 1日当たり計画平均かん水深（mm/日）	平均間断日数（日）	面積（ha）	その他 計画単位用水量平均（mm/日）	面積（ha）	消費水量（m^3/s）	損失率（%）	粗用水量 平均（m^3/s）	最大（m^3/s）	備考
宇尾		29.7		29.7	26.9	150	29.7									0.137	10	0.107	0.152	
計		29.7		29.7																

（2）営農飲雑用水　　該当なし

5　水源計画

（1）水利用計画

（第10表-2）

区分 / 項目		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量 水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	不足水量 純不足水量	全不足水量	水源依存量 水源名	水量	水源工種	備考
		a（m3/s）	b（m3/s）	c＝a－b（m3/s）	d＝c/(1－α)（m3/s）		e（m3/s）	f（m3/s）	g＝c－f（m3/s）	h＝d－e（m3/s）		（m3/s）		損失率：α＝　10%
農業用用排水施設	代かき期	0.137	－	0.137	0.152	18号分水		－	－	－	－	－	－	
	普通期	0.096	－	0.096	0.107	18号分水		－	－	－	－	－	－	
	計													

（２）用水対策

（ア）貯水池　　該当なし

（イ）井堰及び自然取入口　　該当なし

（ウ）揚水機　　該当なし

（エ）用水路

（第10表-6）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名			最大通水量	延長	構造	備考
	農業用用排水施設	地区外	計	(m^3/s)	(km)		
支線用水路	29.7		29.7	0.001～0.152	4.384	VUφ125～300	
計	29.7	－	29.7		4.384		

（オ）その他の水源施設　　該当なし

（３）水温水質　　該当なし

第４節　排水計画　　該当なし

第５節　道路計画

１　道路及び索道

（１）道路　　（第12表-1）

項目 路線名	幅（有効）×延長 (m)　　(km)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
支線道路	4.0(3.0)　　×0.374	敷砂利	取付道路	
計				

（２）索道　　該当なし

２　路線配置図

第６節　農用地造成計画　　該当なし

第７節　洪水調節計画　　該当なし

第８節　干拓計画　　該当なし

第９節　農用地整備計画
　１　区画整理　　該当なし

2　暗渠排水

（1）暗渠排水　　（第16表-3-1）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名 暗渠排水		計	土壌統（区）名	基準雨量（mm/日）	単位排水量（リットル/s/ha）	計画後の地下水位（m）	集水渠出口以下の排水方式	備考
暗渠排水	5.1		5.1	E42、D34		0.0046	0.6		
計	5.1		5.1						

（2）心土破砕　　該当なし

3　客土

（第16表-4）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名 客土		計	土壌統(区)名	減水深(mm/日) 現況平均	減水深(mm/日) 計画平均	作土の厚さ(cm) 現況平均	作土の厚さ(cm) 計画平均	10a当たり客土量（m3）	土壌の性質 受益地（%）	土壌の性質 採土地（客土材料）（%）	備考
客土	1.0		1.0	E42								
計	1.0		1.0									

4　農地保全　　該当なし

第10節　老朽ため池改修計画　　該当なし

第５章　主要工事計画

第１節　用水施設

１　貯水池　　該当なし

２　頭首工　　該当なし

３　揚水機　　該当なし

４　用水路

（第17表-4）

項目 / 水路名	かんがい面積(ha) 事業名			通水量 (m^3/s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	農業用用排水施設	地区外	計		開きょ	トンネルその他	計				
支線用水路	29.7	－	29.7	0.001～0.152	－	4.384	4.384	VU	1/600		
計	29.7	－	29.7		－	4.384	4.384				

５　その他かんがい施設　　該当なし

第２節　排水施設　　該当なし

第３節　道路及び索道

１　道路

（１）道路の総括表

（第19表-1）

項目 / 区分	路線名	幅（有効）（m）×延長（km）	構造	付帯構造物			最急こう配（%）	同左の延長（m）	最小曲線半径（m）	備考
				名称	構造	数量（箇所）				
農道	支線道路	4.0(3.0)　×　0.374	敷砂利	－	－	－	－	－	－	
計		0.374								

（２）道路主要構造物　　該当なし

２　索道　　該当なし

第４節　農用地造成　　該当なし

第５節　洪水調節施設　　該当なし

第６節　干拓施設　　該当なし

第７節　農用地整備施設

１　区画整理　　該当なし

２　暗渠排水

（１）暗渠排水　　（第23表-4-1）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名			集水渠				排水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	暗渠排水		計	勾配	管種	管径（mm）	延長（m/ha）	勾配	管種	管径（mm）	深さ（m）	間隔（m）	延長（m/ha）	名称	構造	数量（m/ha）	
暗渠排水	5.1		5.1	1/500	VU	50～75	40	1/500	PE	50	0.6	7.5	980				
計	5.1		5.1														

（２）心土破砕　　該当なし

３　客土　　（第23表-5）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名			客入土量（m3）	土取場土量（m3）	運搬距離（km）	運搬方法	備考
	客土		計					
客土	1.0		1.0	1,410				
計	1.0		1.0					

４　除礫　　該当なし

５　農地保全　　該当なし

第８節　老朽ため池改修施設　　該当なし

第６章　附帯工事計画　　該当なし

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

着　　手	令和 8年度
完了予定	令和12年度

第８章　環境との調和への配慮

１　整備上の配慮等事項

・対象範囲の水田土壌(表土)内には保全対象種の胞子や種子が存在するため、表土を戻すことで、植物相の再生を図る。

２　施行上の配慮等事項

・工事用の作業スペースは、周辺環境をできるだけ改変しないよう最小化に努める。
・水生植物への影響を軽減するため、濁水流出の防止に努める。
・工事施工に際して、低騒音型の機械を使用する。

第９章　換地計画の概要　　該当なし

第１０章　事業費の総額及び内訳

（第26表）

区分＼事業名	農業用用排水施設　農業用道路　暗渠排水　客土 （百万円）	備　　考
用水路工	212	
道路工	10	
暗渠排水工	15	
客土工	13	
小　　計	250	
測量試験費	59	
用地買収補償費	32	
小　　計	91	
計	341	
工事雑費	3	
事務費	14	
合　　計	358	

第１１章　効用

（第27表）

事業名	区分＼項目	年増加見込効果額 （千円）	年増加見込所得額 （千円）	備　　考
農業用用排水施設 農業用道路 暗渠排水 農業客土	作物生産効果	21,065	138	
	品質向上効果	3,480	－	
	営農経費節減効果	54,992	57,425	
	維持管理費節減効果	△ 3,605	1,195	
	計	75,932	58,758	

＜参考＞

総便益額：　　1,408,611 千円

第１２章　関連する事業

該当なし

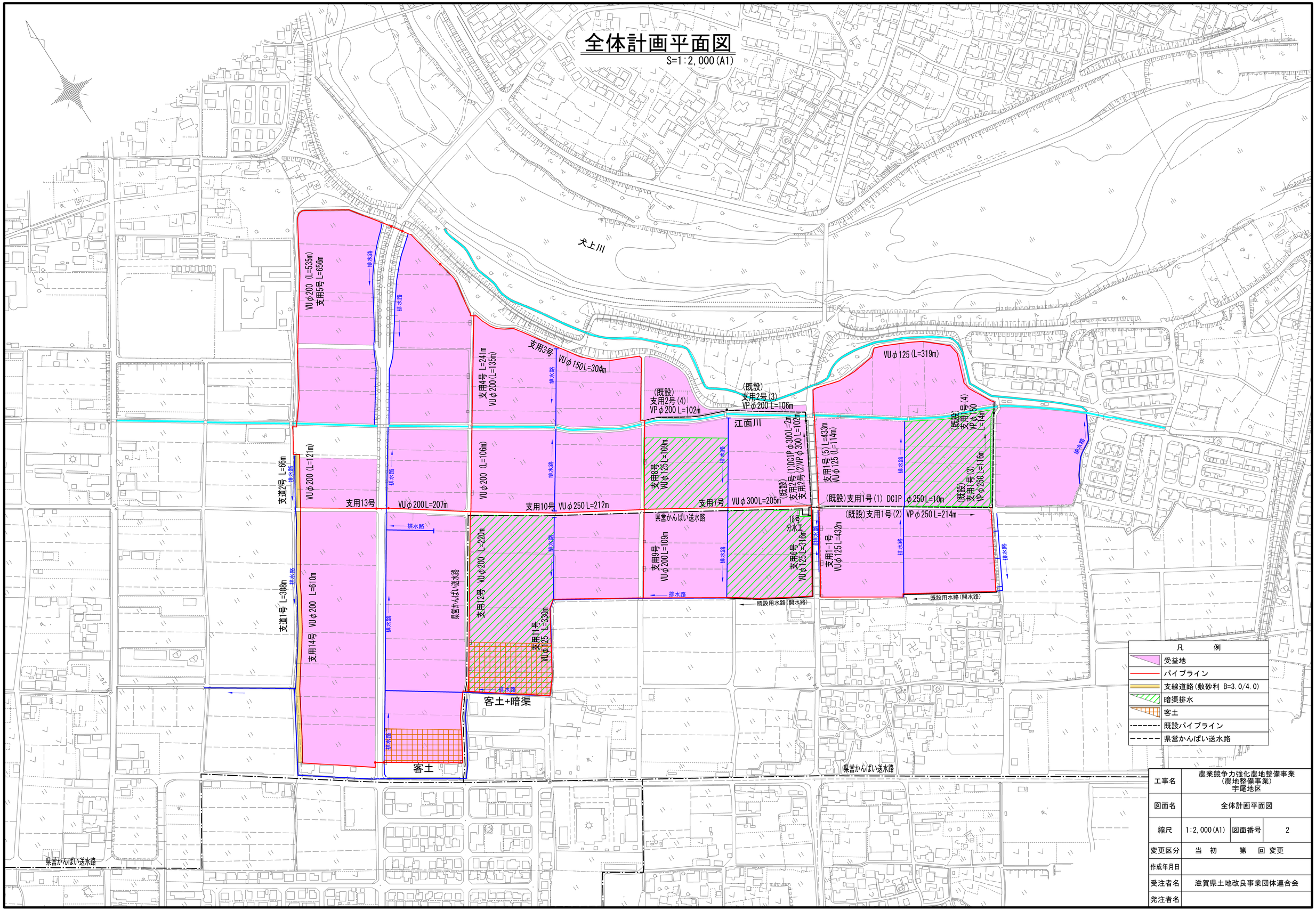
第１３章　現況・計画図面

１　現況計画平面図

別添のとおり

全体計画平面図

S=1:2,000(A1)



工事名	農業競争力強化農地整備事業 (農地整備事業) 宇尾地区		
図面名	全体計画平面図		
縮尺	1:2,000(A1)	図面番号	2
変更区分	当　初　　第　回 変更		
作成年月日			
受注者名	滋賀県土地改良事業団体連合会		
発注者名			